

令和5年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立此花屋内プール
施設所管課・担当	環境局総務部施設管理課（担当：鈴木・萩本）
条例上の設置目的	廃棄物の焼却処理に伴い発生する熱エネルギーを活用した水泳等の場を提供し、又は当該エネルギーの活用に関する知識の普及及び啓発を行うことにより、循環型社会の形成に関する市民の意識の高揚を図るとともに、市民の健康を増進することを目的とする。（大阪市立プール条例）
業務の概要	当該プール施設の設置目的を踏まえるとともに、経営手法や人材、技術力等に民間のノウハウを活用した運営を図り、市民ニーズに対応できる施設運営を行う。
成果指標	利用者数 / 利用者満足度
数値目標	100,000人以上 / 80%以上
指定管理者名	公益財団法人 フィットネス21事業団
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日（5年間）
評価対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用者数	利用者満足度
数値目標	100,000	80%以上
年度実績	76,838	93.0%
達成率	76.8%	116.3%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	76,838	80,639	-3,801
稼働率			

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	47,243,000	51,528,000	0	
	計画	47,243,000	47,238,000		
利用料金収入	実績	18,450,950	20,714,175	-12,000,750	コロナ禍で減少した利用者数が回復しなかったため
	計画	30,451,700	30,053,700		
その他収入 （自主事業収入）	実績	40,148,697	35,517,504	7,983,397	自主事業参加者数の増加や受講料の値上げ（R1.10・R5.4実施）による増
	計画	32,165,300	31,523,300		
合計	実績	105,842,647	107,759,679	-4,017,353	
	計画	109,860,000	108,815,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	53,118,464	46,583,102	-1,621,536	業務内容の割振り等を変更し、人員配置の見直しを行ったため
	計画	54,740,000	53,795,000		
物件費	実績	50,459,715	55,382,083	1,899,715	計画にはなかった自主事業に係る専用利用料を事業経費にしたため
	計画	48,560,000	48,460,000		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	7,264,507	7,275,060	704,507	本部管理費配賦差異
	計画	6,560,000	6,560,000		
合計	実績	110,842,686	109,240,245	982,686	
	計画	109,860,000	108,815,000		

令和 5 年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1 次評価）
（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者数	76.8%	C	コロナ禍で減少した利用者が、コロナ前の水準に回復しなかった。 また、工事に伴う休館（実日数 7 日間）の影響も少なからずある。
利用者満足度	116.3%	A	アンケート結果（実施期間：令和 5 年10月12日～12月23日）

（2）市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
光熱水費の低減に向けた取組の実施	B	・令和 2 年度に契約条件の見直しを実施 ・照明のLED化を実施 ・照明や空調、ボイラーの稼働スケジュールを見直すなど光熱水費にかかる使用量削減に努めている。

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

・令和 5 年10月12日から12月23日に利用者アンケートを実施し、利用者満足度93%という高評価であった。 ・職員の接遇研修の充実を図るとともに、利用受付時や施設内巡回時に積極的にコミュニケーションを図り、利用者意見を反映することで施設の運営改善に取り組んでいる。 ・定期的な研修の実施により、職員としての意識・技能を高め、利用者サービスの向上に努めている。 ・問題発生時の詳細を職員間で情報共有することにより、迅速な対応・再発防止に努めている。
--

6 外部専門家意見

・目標とする利用者数の確保ができなかったものの、利用者満足度が93%と高水準を維持されており、大阪市や各地域の取組み協力を実施されている点も評価できる。 ・適切な人員配置転換とあるが（人件費部分）、具体的にどのような点に課題があり、どのような対応策をとられたのか提示いただきたい。昨年からは増だが、計画とはあまり変わらないのでどう言った点を変更されたか確認を求めたい。 ・高い利用者満足度は評価できるが、利用者の減少が続いている。利用者数の増加に向けて、これまでの計画と現状のどの点（対象、対象に対する施策）が機能していないのか、具体的な検証を貴組織内で検討、共有していただきたい。 ・事業報告書の「次年度に向けた課題及び目標」に掲載されている内容については評価できる。その実現に向けて、適正な施設運営や、安全・安心な環境づくりに尽力されたい。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	利用者数の目標は未達成となったものの、利用者満足度 80%以上については達成した。
市費の縮減	B	効率的なエネルギー利用を考慮し稼働スケジュールを見直すなど、光熱水費等の経費削減を行い、市費の縮減に努めた。
管理運営の履行状況	B	・概ね本市の求める水準の事業対応が行われた。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策において、本市の指示に的確に対応し、適切な施設管理・運営を実施した。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	

令和5年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立西淀川屋内プール
施設所管課・担当	環境局総務部施設管理課（担当：鈴木・萩本）
条例上の設置目的	廃棄物の焼却処理に伴い発生する熱エネルギーを活用した水泳等の場を提供し、又は当該エネルギーの活用に関する知識の普及及び啓発を行うことにより、循環型社会の形成に関する市民の意識の高揚を図るとともに、市民の健康を増進することを目的とする。（大阪市立プール条例）
業務の概要	当該プール施設の設置目的を踏まえるとともに、経営手法や人材、技術力等に民間のノウハウを活用した運営を図り、市民ニーズに対応できる施設運営を行う。
成果指標	利用者数 / 利用者満足度
数値目標	100,000人以上 / 80%以上
指定管理者名	公益財団法人 フィットネス21事業団
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日（5年間）
評価対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用者数	利用者満足度
数値目標	100,000	80%以上
年度実績	82,629	83.0%
達成率	82.6%	103.8%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	82,629	80,639	1,990
稼働率			

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	38,254,150	38,254,650	0	
	計画	38,254,150	38,254,650		
利用料金収入	実績	21,647,980	21,534,740	-6,521,770	コロナ禍で減少した利用者数が回復しなかったため
	計画	28,169,750	27,557,250		
その他収入 （自主事業収入）	実績	40,638,503	37,171,078	2,439,403	自主事業参加者数の増加や受講料の値上げ（R1.10・R5.4実施）による増
	計画	38,199,100	37,953,100		
合計	実績	100,540,633	96,960,468	-4,082,367	
	計画	104,623,000	103,765,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	44,863,290	44,563,331	-8,874,710	業務内容の割振り等を変更し、人員配置の見直しを行ったため
	計画	53,738,000	52,880,000		
物件費	実績	43,714,399	46,760,394	-593,601	照明器具の点灯時間・空調機器の温度設定等の見直しや、西淀工場からの安定した蒸気の送気により光熱水費を削減したため
	計画	44,308,000	44,308,000		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	6,524,675	6,356,188	-52,325	本部管理費配賦差異
	計画	6,577,000	6,577,000		
合計	実績	95,102,364	97,679,913	-9,520,636	
	計画	104,623,000	103,765,000		

令和 5 年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1 次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者数	82.6%	C	コロナ禍で減少した利用者が、コロナ前の水準に回復しなかった。
利用者満足度	103.8%	B	アンケート結果（実施期間：令和 5 年 9 月 1 日～9 月30日）

（2）市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
光熱水費の低減に向けた取組の実施	B	・令和 2 年度に契約条件の見直しを実施 ・照明のLED化を実施 ・照明や空調、ボイラーの稼働スケジュールを見直すなど光熱水費にかかる使用量削減に努めている。

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

・令和 5 年 9 月 1 日から 9 月30日に利用者アンケートを実施し、利用者満足度83%という高評価であった。 ・職員の接遇研修の充実を図るとともに、利用受付時や施設内巡回時に積極的にコミュニケーションを図り、利用者意見を反映することで施設の運営改善に取り組んでいる。 ・定期的な研修の実施により、職員としての意識・技能を高め、利用者サービスの向上に努めている。 ・問題発生時の詳細を職員間で情報共有することにより、迅速な対応・再発防止に努めている。

6 外部専門家意見

・目標とする利用者数の確保ができなかったものの、利用者満足度が83%と高水準を維持されており、大阪市や各地域の取組み協力を実施されている点も評価できる。 ・人員配置の適正化により人件費の圧縮は収支均衡の観点から評価できるが、利用者の安全性の観点／従業員の業務負担の観点の両面で持続性の高いレベルでの設定となるように留意いただきたい。 ・光熱水費削減対策は評価できるが、利用者サービスの質の低下に繋がらないよう注意をされたい。 ・コロナ禍で減少した利用者数の増加に向けて、どのような戦略（減少した対象はどのあたり？当該対象の阻害要因の検討。具体的な解決策の提示および実施後の検証）で目標利用者数を達成するかについて、より具体的な努力をお願いしたい。 ・事業報告書の「次年度に向けた課題及び目標」に掲載されている内容については評価できる。その実現に向けて、適正な施設運営や、安全・安心な環境づくりに尽力されたい。
--

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	利用者数の目標は未達成となったものの、利用者満足度 80%以上については達成した。
市費の縮減	B	効率的なエネルギー利用を考慮し稼働スケジュールを見直すなど、光熱水費等の経費削減を行い、市費の縮減に努めた。
管理運営の履行状況	B	・概ね本市の求める水準の事業対応が行われた。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策において、本市の指示に的確に対応し、適切な施設管理・運営を実施した。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	

令和5年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立住之江屋内プール
施設所管課・担当	環境局総務部施設管理課（担当：鈴木・萩本）
条例上の設置目的	廃棄物の焼却処理に伴い発生する熱エネルギーを活用した水泳等の場を提供し、又は当該エネルギーの活用に関する知識の普及及び啓発を行うことにより、循環型社会の形成に関する市民の意識の高揚を図るとともに、市民の健康を増進することを目的とする。（大阪市立プール条例）
業務の概要	当該プール施設の設置目的を踏まえるとともに、経営手法や人材、技術力等に民間のノウハウを活用した運営を図り、市民ニーズに対応できる施設運営を行う。
成果指標	利用者数 / 利用者満足度
数値目標	100,000人以上 / 80%以上
指定管理者名	公益財団法人 フィットネス21事業団
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日（5年間）
評価対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用者数	利用者満足度
数値目標	100,000	80%以上
年度実績	57,868	84.0%
達成率	57.9%	105.0%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	57,868	41,850	16,018
稼働率			

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	54,581,900	63,090,188	0	
	計画	54,581,900	54,581,950		
利用料金収入	実績	16,105,441	11,588,809	-5,863,009	コロナ禍で減少した利用者数が回復しなかったため
	計画	21,968,450	21,839,650		
その他収入 （自主事業収入）	実績	27,389,971	15,967,998	3,377,171	自主事業参加者数の増加や受講料の値上げ（R1.10・R5.4実施）による増
	計画	24,012,800	23,713,050		
合計	実績	98,077,312	90,646,995	-2,485,838	
	計画	100,563,150	100,134,650		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	41,839,297	39,311,473	-12,746,803	業務内容の割振り等を変更し、人員配置の見直しを行ったため
	計画	54,586,100	53,424,100		
物件費	実績	37,044,134	30,558,595	-2,379,366	照明器具の点灯時間・空調機器の温度設定等の見直しにより光熱水費を削減したため
	計画	39,423,500	40,157,000		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	6,653,784	6,149,286	100,234	本部管理費配賦差異
	計画	6,553,550	6,553,550		
合計	実績	85,537,215	76,019,354	-15,025,935	
	計画	100,563,150	100,134,650		

令和 5 年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1 次評価）
（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者数	57.9%	C	コロナ禍で減少した利用者が、コロナ前の水準に回復しなかった。
利用者満足度	105.0%	B	アンケート結果（実施期間：令和 5 年 9 月 1 日～10月 6 日）

（2）市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
光熱水費の低減に向けた取組の実施	B	・令和 2 年度に契約条件の見直しを実施 ・照明のLED化を実施 ・照明や空調、ボイラーの稼働スケジュールを見直すなど光熱水費にかかる使用量削減に努めている。

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

・令和 5 年 9 月 1 日から10月 6 日に利用者アンケートを実施し、利用者満足度84%という高評価であった。 ・職員の接遇研修の充実を図るとともに、利用受付時や施設内巡回時に積極的にコミュニケーションを図り、利用者意見を反映することで施設の運営改善に取り組んでいる。 ・定期的な研修の実施により、職員としての意識・技能を高め、利用者サービスの向上に努めている。 ・問題発生時の詳細を職員間で情報共有することにより、迅速な対応・再発防止に努めている。

6 外部専門家意見

・目標とする利用者数の確保ができなかったものの、利用者満足度が84%と高水準を維持されており、大阪市や各地域の取組み協力を実施されている点も評価できる。 ・人件費の部分について、計画から縮小。昨年度とはあまり変額なしと理解。人員の効率的な配置を行ったとあるが、前年度からの実施になるのか？それとも当年度に大きく変更を行ったのか？具体的に提示いただきたい。 ・前年度から回復はみられるが、大きく利用者数が計画と乖離がある。貴組織において分析をしっかりと行っていただき（どの部分が戻っている、戻っていないのか／何が理由で戻りが悪いのか／どのような取り組みが効果があったのか等）、利用者数の当初目標達成に向けて、新たな利用者の獲得を強化する点も含めて改善を期待したい。 ・事業報告書の「次年度に向けた課題及び目標」に掲載されている内容については評価できる。その実現に向けて、適正な施設運営や、安全・安心な環境づくりに尽力されたい。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	利用者数の目標は未達成となったものの、利用者満足度 80%以上については達成した。
市費の縮減	B	効率的なエネルギー利用を考慮し稼働スケジュールを見直すなど、光熱水費等の経費削減を行い、市費の縮減に努めた。
管理運営の履行状況	B	・概ね本市の求める水準の事業対応が行われた。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策において、本市の指示に的確に対応し、適切な施設管理・運営を実施した。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	